



## 平成18年度「福井県バリアフリーのまちづくり賞」知事表彰



6 ページ  
関連記事

### 活動報告

- 11月18日『駅の文化祭』家久駅
- 11月26日福井市消費者まつり（主催：福井市）
- 11月29日IRE LRT研究会
- 12月 3日「福井県バリアフリーのまちづくり賞」  
知事表彰式
- 12月15日 例会・理事会

### 今後の予定

- 12月17日（日）越前市市民バス時刻表作成
- 12月20日（水）IRE LRT研究会
- 1月13日（土）講演会（下記参照）
- 1月19日（金）例会・理事会

### 講演会のお知らせ

日時：2007年1月13日（土）15：00～17：30 場所：福井県国際交流会館 地下ホール  
内容：「まちづくりに路面電車をどう活かすか！」

フランス・ストラスブールでは路面電車を導入し、LRTとして活性化することによりまちの賑わいを取り戻すことができました。講演の講師アラン・メネトー氏はグルノーブルの路面電車導入やストラスブールの交通担当責任者として実務に携わった方です。具体的な手法や困難をどう乗り越えてきたのか、そして今のフランスの地域交通の現状など、あらゆる角度からの話が聞ける絶好の機会です。

この度、望月真一さんの計らいで実現した企画です。特に日本においてLRTからのまちづくりの可能性が高い富山・福井を選んでいただき実現の運びとなりました。なお、この企画は第1弾として熊本・沖縄での開催に次ぐ、第2弾として連続開催するものです。どうか、できるだけ多くの人をお誘いの上ご参加下さい。

内田・記

## 駅美化運動報告第3弾【家久編】

実施日：平成18年11月18日（土）午後1時30分～午後2時40分

参加者：高校生 参加なし

福井県 高山 昌英

越前市 辻田 千鶴子

福井鉄道 上木 一正（技術担当）

ROBA 内田、清水、岸本、塚谷、高橋

13:30～13:40 趣旨説明及び自己紹介

13:40～13:50 駅周辺、駅舎内観察

13:50～14:20 意見交換

14:20～14:40 清掃

### 駅周辺、駅舎内の観察

駅周辺、待合室、ホーム、線路周辺

（参加者の感性）

- ・歩道が途切れており、駐輪場に屋根がない。
- ・家久のカバーするエリアが広いので半径200m以内には駅までの案内、「ここを曲がれ」とかの表示があったほうがいい。
- ・P & Rの用地がないか検討してはどうか。
- ・駅舎がレトロなので工夫できないか。また冬寒いので暖かくする工夫をしたい。
- ・待合の椅子は固いので座布団かなにか欲しい。
- ・入口の凸凹が気になる（バリアフリーではない）
- ・道路から駅の看板が見えないのでわかりにくい。
- ・放置自転車が多数。駅周辺の町内からも意見が出ている。また、壊れた自転車が放置されており、きちんと整備したい。
- ・ゴミ箱がないので欲しい。
- ・踏切のところが暗く、利用者も危ないし、運転士も見えにくいので危ない。外灯が欲しい。
- ・電光掲示板で接近表示などをして欲しい
- ・待合室の落書きが気になる。
- ・トイレが汚い。使いにくい。また、外灯がないので暗くて危険。
- ・無人駅が多いが、美化に関心を持ってもらいたい。職員の感性をアップしてもらいたい。
- ・駅から出てもすぐ車道となり、危険注意歓呼の看板が欲しい。
- ・待合室内の時刻表を工夫して見やすくしてもらいたい。
- ・信号機のない踏切のところに注意歓呼の看板が必要。
- ・待合室に時計が小さい。お年寄りも利用するので大きな時計を設置してはどうか。
- ・ポスターがあるのはいいが、まとまりがないのできちんとしたい。また、小さい文字があるのは、大きくして張り出したい。
- ・土嚢が邪魔なので、撤去してはどうか？安全柵は別に検討してもらいたい。
- ・建物の老朽化もさることながら、柱と塚がずれている箇所があり、構造上不安がある。
- ・花を手製のペットボトル花瓶で生けてあり、少し待合室が和んでいる。

- ・ 駅の増設を考えてはどうか。もう少し乗客数向上に寄与するのではないか？（例えば、家久の駅の前後に1駅ずつ設置という案はどうか？）
- ・ 待合室が寒いのでストーブなど暖房器具の設置はいかがか？
- ・ ホームの屋根が短いので、もう少し長くできないのか？
- ・ 待合室は以外にきれいに使われているという実感がした。
- ・ 椅子が冷たいので「座布団」などのクッションを置けないか？

福井鉄道さんより

- ・ 清掃については、休日・祝日を除き、職員が巡回して清掃している。
- ・ 待合室には冬場にはストーブを配置してる。が、あまり暖かくすると、浮浪者が来てしまう。過去に警察へ頼んだこともあるので何とも言えない。
- ・ 踏切のところに“外灯”がなかったことは気がつかなかった。さっそく検討して対処したい。
- ・ 上屋については、確かに短いので長くできるので前向きに検討したい。
- ・ ゴミについては、カラスがやってきて散らかすので職員が事務所内で片付けて処理している。
- ・ 土嚢については、過日の降雨で河川の増水があったため、そのままにしてある。
- ・ 道路沿いの駐輪場は、福井鉄道の用地を提供している。

意見交換

- ・ ゴミ箱がないという意見に対しては、田原町駅では「家庭ごみ」を捨てる輩がいるので、置かない方がいいのではないかという意見が出た。
- ・ 使っていない駅事務室を待合に開放して、便所もここから行けるようにしてはどうかという意見が出た。
- ・ また、吉野瀬川の改修計画に併せて、駅舎の改築問題もあり、町会でも公民館を併設して欲しいとの意見がでていることが紹介された。
- ・ 駅までの案内表示については、県の方でも設置することが可能と思うが、基本的にクルマを対象としたものとなる可能性がある。
- ・ また、河川改修計画で残地ができるので、そこでP & Rができるのではないか？

清掃活動

意見交換ののち、皆で駅美化の掃除を行った。

線路周辺の清掃、壊れた自転車の整頓やら、ポスター類の張替えなど、ほんの少しの努力でかなり違ってくる。下のポスターの位置をみても、手を入れたことによる違いがわかる。

\* 河川の堤防の天端と石積みの間の亀裂が気になる。土嚢を置いている訳がわかる？（右下写真）





説明風景



観察風景 1



待合室を清掃



随所を観察



整理されたポスター類(上と比べて)



清掃風景 1



駐輪場(屋根が欲しい)



線路部分も清掃

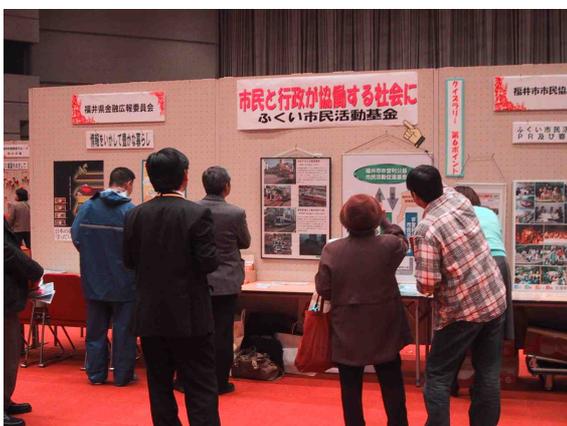
福井市の消費者まつり実行委員会が主催となって、11月26日(土)午前10時より午後4時までフェニックスプラザでの恒例(この字が”高齡“と思われる)の行事ですが、市の助成金をいただいて活動している団体からボランティアを募って「市民協働募金」へのお願いをするものですが、実際蓋を開けると、ボランティア団体で参加したのは、「エコプランふくい」の吉川さんとROBAの内田会長、塚谷会員、高橋会員の4名でした。

(他の団体の方が参加されていたらすみません。いずれにしろ、ボランティアする方が少ない。ボランティア参加のやり方に工夫がいるような気がしました。)

私たちの関るところは、スタンプラリー形式にして、参加者にクイズ形式で「ふくい市民活動基金」の宣伝と、併せて『募金のお願い』をしております。中には、ばったり目があつたために募金をせざるを得なかった方や、子供が親にお願いして募金をしたり、また気持ちよくがんばってね!と激励してくれる方もおり、まちまちです。なかには「昨今の事件のように他への流用はないでしょうね?」とか、「何に使うの?」とか、いろいろ聞かれます。その都度、「市民活動基金の一部に加えさせてもらっています。(パネルを見せて)こんなような活動の助成に使われていますよ。」と説明します。(このように聞いてくるのはまれですが)



募金のご協力ありがとうございました!



答えは何? 答えはね...と教える会長

消費者まつりのポスターより(上・表、下・裏)

「福井県バリアフリーのまちづくり賞」受賞を受けて

ROBA会長 内田桂嗣



12月3日、小浜市文化会館で『平成18年度 福井県バリアフリーのまちづくり賞』知事表彰（最優秀活動賞）の式典がありました。ROBAを代表して、高橋事務局長と行ってきました。

この日は例年の行事である福井県身体障害者、心身障害児者福祉大会が開催されていまして、全体の行事の中に『バリアフリーのまちづくり賞』の表彰も組み込まれていました。この表彰は平成16年度からはじまったもので、今年で3回目と歴史はまだ浅いようです。施設部門と推進活動部門があり、ROBAは15件の応募の中から推進活動部門の最優秀活動賞をいただきました。

施設部門は「県民せいきょうハーツはるえ」さんが、最優秀施設賞を受賞されました。内容としては、公共交通しか利用手段をもたない弱者に対して学校教育や日常的に役に立つのりのりマップを作成したり、HPでの使い勝手の良い情報案内、講演での手話通訳の導入、協働によるバス停のバリアフリー調査等、これまでの活動を示したものです。

なお、本件受賞は、ROBAだけの力でなく福井市社協さんや関係各位の協力があったのも感謝する次第です。ありがとうございました。

これからも、特別なことをするのではなく、住みやすいまちづくりを仲間を増やしながら一歩ずつ進めていかなければならないと思っています。

作 / 漆崎 耕次

編集後記・・・編集委員より一言

林(変集長)

「1年間ご購読ありがとうございました」

塚谷(副編集長)

「念願の国家資格取得できました。」

内田(発行責任者)

「新幹線、新幹線と騒いでいるが、もっと大切生活交通」

事務局 特定非営利活動法人

ふくい路面電車とまちづくりの会(ROBA)

910-8031

福井市種池1丁目1905-3

TEL: 0776-25-7968

e-mail: [roba@mbh.nifty.com](mailto:roba@mbh.nifty.com)

URL: <http://roba.cocolog.nifty.com/roba/home/>